

### 第3回評価会議でのご意見に対する対応案

#### 1 外部要因により目標未達成となった場合の取扱い

以下の理由から、外部要因による影響を評価において考慮しないこととしたい。

- ・ 外部要因の範囲の明確化が困難である。
- ・ 外部要因か否かに関わらず、取組を達成できなかったことで成果及び事業経営に影響を及ぼしうる点に変わりはない。
- ・ 組織としての取組の評価であり、個人の能力及び業務の評価ではないことから、人事評価に影響を及ぼすものではないと考えている。

#### 2 当初予算額と決算額のかい離が大きい理由と表記方法の工夫

評価調書の記載項目を修正し、2月補正後の最終予算額を記載することとしたい。また、これまで評価調書に記載していた当初予算額は、削除することとしたい。

記載例：

H30年度最終予算額（円）			H30年度決算額等（円）		
現年度	H29→30繰越	計	決算額	次年度繰越	計
XXX	XXX	XXX	XXX	XXX	XXX

これにより、記載される予算額と決算額のかい離は少なくなる。最終予算額と決算額の差（不用額）は、経費の節減によるものとみなせる。

#### 3 「運営基盤の強化」評価方法の検討

今計画における「運営基盤の強化」の評価については、7つの主要施策の毎年度の達成度により評価を行うこととしていることから、次期中経を策定する際に、他事業体の方法等も参考として、検討することとしたい。